



NEW STAFF

新人自己紹介

2019年1月1日着任

草本 哲郎

くさもと・てつろう

生命・錯体分子科学研究領域
錯体物性研究部門 准教授

2010年に東京大学理学系研究科化学専攻で博士（理学）の学位取得後、理研での特別研究員、基礎科学特別研究員、東京大学理学系研究科化学専攻での特任助教、助教を経て、2019年1月1日付で生命・錯体分子科学研究領域の准教授として着任しました。有機ラジカルや磁性金属錯体などの開殻電子系分子を基に新しい物性科学を開拓することを目指しています。どうぞよろしくお願いいたします。

2019年2月1日着任

菊地 拓郎

きくち・たくろう

技術課 装置開発室
技術職員

18年5月に特任専門員を経て、2月1日付けで係員となりました。機械加工全般と表面処理技術（めっき）の導入をおもに担当しております。この1年間、未経験だった機械加工の経験を積み、加工依頼も少しずつ対応させていただいております。今後も技術・技能の向上に努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2019年2月1日着任

湯澤 勇人

ゆざわ・はやと

技術課 極端紫外光研究施設
技術職員

名古屋大学で学位取得後、分子研小杉グループの博士研究員、UVSORの特任専門員を経て引き続き技術職員としてUVSORにお世話になることになりました。現在は主に軟X線顕微分光ビームラインの実験支援を行っております。よろしくお願いいたします。

2019年2月1日着任

神谷 基司

かみや・もとし

技術課 計算科学研究センター
技術職員

昨年4月より特任専門員としてスパコンの管理、運用に携わっていましたが、今年の2月からは技術職員としてこれまで以上にがんばっていくことになりました。その結果、このコーナーに2年連続でお邪魔させていただくことになってしまっただけで当惑気味だったりもしています。スパコン周りの色々を引き続きがんばっていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2019年2月1日着任

宇野 明子

うの・あきこ

計算科学研究センター
技術支援員

2019年2月より計算科学研究センターの技術支援員としてお世話になっております。

まわりの方々の温かいご指導のもと、お仕事させていただける環境に感謝しています。少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2019年3月1日着任

櫻井 敦教

さくらい・あつのり

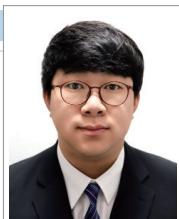
物質分子科学研究領域
電子構造研究部門 助教

2008年東工大物理学科卒業、2013年京大化学専攻で博士（理学）を取得し、スウェーデンのルンド大学化学物理学科でポスドク、東大生産技術研究所で学振特別研究員（SPD）、スタンフォード大学化学科で客員博士研究員を経験したのち、本年3月から杉本グループの助教に着任いたしました。凝縮相の量子ダイナミクスをキーワードに、非線形分光の実験と理論を駆使して、現象のメカニズムの本質に迫る研究を行っていきたく考えています。

2019年3月1日着任

AHN, Hyo-Yong

メゾスコピック計測研究センター
織細計測研究部門 特任助教



I received my Ph. D degree in Material Science & Engineering from Seoul National University in Korea, with a thesis on Morphology and Chirality Control of Plasmonic Nanoparticle using Amino Acids and Peptides under the supervision of Prof. Ki Tae Nam. Recently I have joined Prof. Okamoto's group and have been working on the light-matter interaction under chiral near-field by utilizing chiral plasmonic nanostructure and near-field optical microscopy. I'm very glad to be working in IMS with outstanding researchers.

2019年3月1日着任

浅田 瑞枝

あさだ・みずえ

技術課 機器センター
技術職員



これまで3年間、電子物性部門中村グループでESRを使った研究を行っており、3月から機器センターの技術職員として着任しました。主な業務は寒剤供給とESR、SQUID（予定）の支援です。今度は私が皆様の支えになれるよう励みたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2019年3月14日着任

KUDUVA RADHAKRISHNAN, Vignesh

理論・計算分子科学研究領域
計算分子科学研究部門 研究員

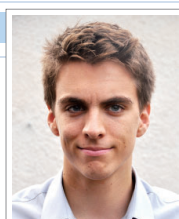


I completed my PhD under the joint guidance of Prof. G. Rajaraman (IIT Bombay, India) and Prof. Keith Murray (Monash University, Australia) in November'2016 at IITB-Monash Research Academy, India. After completing my PhD, I worked as a postdoctoral research associate in Prof. Kim Dunbar's group at Texas A&M University, USA for two years. Since March'2019, I am a postdoctoral research fellow in Prof. Masahiro Ehara's group at Institute for Molecular Science, Okazaki, Japan. At this time, I study about the CO oxidation / NO reduction on heterogeneous metal oxide catalysts using quantum mechanical methods.

2019年3月16日着任

DE LESELEUC, Sylvain

光分子科学研究領域
光分子科学第二研究部門 助教



I obtained my PhD degree from the Institute of Optics (Paris-Saclay Université, France) in 2018, after developing a quantum simulator of spin model (e.g., the quantum Ising model). The machine is based on microscopic arrays of atoms, held in holographic optical tweezers, and excited to Rydberg states (states with gigantic electronic orbitals, interacting strongly together). I have now joined the group of Prof. Ohmori where I plan to combine the techniques established during my PhD with the local expertise on ultrafast phenomena.

2019年3月18日着任

LEE, Dooyong

光分子科学研究領域
光分子科学第三研究部門 特任研究員



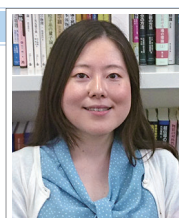
I received my Ph. D. degree from Pusan National University, Korea in February 2019. Currently, I joined as a postdoctoral fellow in Kera' group at the Institute for Molecular Science. My research focuses on understanding the electronic structure at the interface between organic/inorganic material using ultraviolet photoelectron spectroscopy.

2019年4月1日着任

南谷 英美

みなみ谷に・えみ

理論・計算分子科学研究領域
理論分子科学第一研究部門 准教授



2010年に大阪大学工学研究科応用物理学専攻で博士（工学）を取得したのち、理化学研究所基礎科学特別研究員、東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻助教、同講師を経て4月から分子科学研究所の准教授として着任しました。物性理論やその数値シミュレーションが専門です。分子研で新しいテーマに挑戦したいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



NEW STAFF

新人自己紹介

2019年4月1日着任

山本 航平

やまもと・こうへい

物質分子科学研究領域
電子構造研究部門 助教

東京大学理学系研究科物理学専攻で修士（理学）を取得後、博士課程を経て、本年4月より横山グループ助教に着任いたしました。大学院生時代は、SPRING-8に東京大学物性研究所が設置するビームラインBL07LSUに常駐しながら、装置開発を含む放射光X線の特性を駆使した磁性体研究を行ってきました。分子研着任を機に新しいテーマにも取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

2019年4月1日着任

福井 賢一

ふくい・けんいち

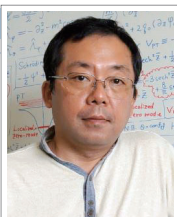
光分子科学研究領域
光分子科学第三研究部門 客員教授

東京大学（助手・講師）、東京工業大学（准教授）を経て、2008年より大阪大学大学院基礎工学研究科で教授を務めております。専門も、超高真空中での触媒表面化学から、電気化学デバイスの電極界面化学へと重心を移しています。デバイス動作中の界面オペランド観測に特に力を入れており、真空中での表面科学手法とも親和性の高い、イオン液体の界面挙動の解明に取り組んで行きたいと思っております。

2019年4月1日着任

岸根 順一郎

きしね・じゅんいちろう

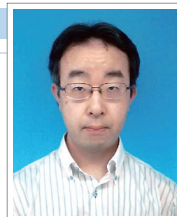
物質分子科学研究領域
物質分子科学研究部門 客員教授

専門は凝縮系物理の理論です。この15年ほど、左右対称性が破れたカイラル物質の研究に集中しています。カイラリティの概念は広く深く、しかも謎だらけです。物理と化学、実験と理論を結びつけ「カイラル物質科学」なる分野を作りたいと志しています。分子研には96年から02年まで助手として所属していました。望郷と希望（野望）を胸に再び岡崎の空気を吸い込み、頑張ってみます。

2019年4月1日着任

香月 浩之

かつき・ひろゆき

光分子科学研究領域
光分子科学第四研究部門 客員准教授

2012年まで分子研助教として在籍しておりました。現在は奈良先端科技大先端科学技術研究科准教授として固体や液体などの凝縮状態、特に強結合系における量子状態を対象に、超短パルスレーザーを利用した量子状態制御技術の新展開を目指して研究を進めております。新たな研究を進めることで、分子研にとって意義のある貢献ができるよう尽力していきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

2019年4月1日着任

古川 貢

ふるかわ・こう

物質分子科学研究領域
物質分子科学研究部門 客員准教授

本年4月より客員准教授に着任いたしました。現在の所属は、新潟大学 研究推進機構 共用設備基盤センターで、学内の大型・中型設備の共用化・運用に携わっています。2012年以来、7年ぶりの分子研で、多くの方達との共同研究を通じた交流を楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

2019年4月1日着任

大島 勇吾

おおしま・ゆうご

物質分子科学研究領域
物質分子科学研究部門 客員准教授

神戸大学にて学位取得後、アメリカの国立強磁場研究所にて博士研究員、東北大学金属材料研究所にて助手・助教を歴任し、現在は理化学研究所にて専任研究員をやっております。専門は物性物理学で、主に高周波（マイクロ波～サブミリ波領域）と強磁場を組み合わせた測定法である、電子スピン共鳴、サイクロトロン共鳴、非接触伝導測定を得意としております。どうぞ宜しくお願い致します。

2019年4月1日着任

富田 隆文

とみた・たかふみ

光分子科学研究領域

光分子科学第二研究部門 特任助教



昨年度京都大学にて博士（理学）を取得後、今年度4月より大森Gの特任助教として着任いたしました。冷却原子気体を用いた量子シミュレーション実験を専門としております。分子研では、大森Gの技術力・研究力を吸収し、リユードベリ原子とパルスレーザーを駆使した挑戦的な課題にトライしたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

2019年4月1日着任

長谷川 友里

はせがわ・ゆり

光分子科学研究領域

光分子科学第三研究部門 IMSフェロー



筑波大学にて表面科学を用いた自己組織化現象の研究を始め、2015年に日本学術振興会特別研究員（DC1）、2018年に学位を取得しました。この間、UVSORでユーザーとして大変お世話になりました。その後、原子力研究開発機構の博士研究員を経て、2019年に分子科学研究所の解良グループに着任しました。よい研究を進めるようがんばります。

2019年4月1日着任

稲垣 泰一

いながき・たいち

理論・計算分子科学研究領域

理論分子科学第一研究部門 特別研究員



京都大学で学位取得後、産総研、名古屋大学の博士研究員を経て、4月1日より斉藤グループに加わりました。これまで、理論・計算化学により熱マネジメントや電気化学分野の機能性材料の物性評価や分子デザインなどを行ってきました。分子研では、固相が絡む化学反応と拡散過程の分子論的理解を目指しています。どうぞよろしくお願いいたします。

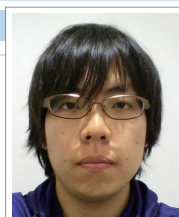
2019年4月1日着任

松村 祥宏

まつむら・よしひろ

理論・計算分子科学研究領域

理論分子科学第一研究部門 特別研究員



京都大学にて学位取得後、斉藤グループに博士研究員として着任し、約二年間、凝縮系の化学過程における動的不均一性・無秩序の理論研究を行ってきました。今後は、日本学術振興会特別研究員（PD）として、研究をさらに発展させていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

2019年4月1日着任

國見 昌哉

くにみ・まさや

光分子科学研究領域

光分子科学第二研究部門 特任研究員



2014年に東京大学大学院総合文化研究科で博士号（学術）を取得した後、2016年3月まで電気通信大学研究員、2019年3月まで京都大学基礎物理学研究所学振PDを経て、4月より大森研究室の特任研究員に着任しました。所属している大森研究室は実験のグループですが、私は理論家で、冷却原子系の超流動体を中心に理論の研究を行ってきました。よろしくお願いいたします。

2019年4月1日着任

日野出 憲治

ひので・けんじ

理論・計算分子科学研究領域

理論分子科学第一研究部門 研究員



2018年5月から南谷先生のさがけプロジェクトで「層状物質の電子フォノン相互作用解析」に向けたシミュレーションプログラムを開発しています。本年4月に南谷先生が分子研へ移られたのに伴い、私も分子研の所属になりました。

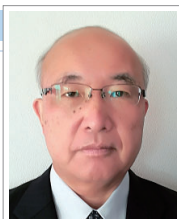
大学院修了後、日立製作所でシリコンLSIの研究に、超電導工学研究所で超伝導デバイスの開発に携わりました。そこでの経験を生かしつつ、これからのチャレンジングな仕事を楽しみたいと思っています。



2019年4月1日着任

奥川 伸一

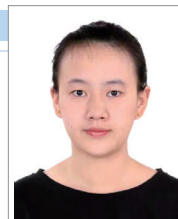
おくがわ・しんいち

理論・計算分子科学研究領域
理論分子科学第一研究部門 研究員

2018年9月から南谷先生のさきがけプロジェクトで、ニューラルネットワークによる機械学習を利用した半導体の熱伝導率シミュレーションなどを行っています。南谷先生の分子研への異動に伴い、私も本年4月より分子研に仲間入りさせて頂きました。大学院でのAI関連研究やNECでのコンピュータハード/ソフト開発などの経験も活かして、南谷先生の研究の一翼を担えればと思っています。

2019年4月1日着任

ZHAO, Pei

理論・計算分子科学研究領域
計算分子科学研究部門 研究員

I received my PhD degree in Materials Science and Engineering from Xi'an Jiaotong University, China, in September 2018. Since October 23rd, 2018, I have been working in Prof. Ehara's group at Institute for Molecular Science as a postdoctoral fellow. My present research mainly focuses on theoretical studies on physicochemical properties of carbon nanotubes and zeolites, which would be meaningful for experimental characterization and future applications.

2019年4月1日着任

谷原 佑輔

やばら・ゆうすけ

物質分子科学研究領域
分子機能研究部門 研究員

埼玉大学大学院を修了後、2019年4月より分子研、平本グループで派遣研究員としてお世話になっております。これまでは金属錯体の光物性について研究を行ってまいりました。現在は有機太陽電池の研究を行っており、学生時代と研究分野が異なるため、分からない点は多々ありますが、一日でも早く平本グループに貢献したいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。

2019年4月1日着任

武田 公利

たけだ・きみとし

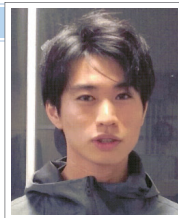
生命・錯体分子科学研究領域
生体分子機能研究部門 特任研究員

2019年3月に京都大学大学院理学研究科にて博士（理学）を取得し、この4月より飯野グループに着任しました。これまでは光受容タンパク質の反応ダイナミクスの研究に取り組んできました。分子研ではこれまでに学んできた知識を大いに活用して皆がわくわくするような魅力的な研究を行っていきたく考えています。何卒よろしくお願いいたします。

2019年4月1日着任

山西 絢介

やまにし・じゅんすけ

メゾスコピック計測研究センター
繊細計測研究部門 特任研究員

大阪大学大学院工学研究科精密科学・応用物理学専攻博士課程修了後、岡本グループの特任研究員として着任しました。これまでは、原子間力顕微鏡を用いた光圧の測定によるナノ光学イメージングを行ってきました。着任後もナノ光学における光圧を利用した新規のアプリケーションの実現に取り組んでいきたいと思っています。何卒宜しくお願いします。

2019年4月1日着任

松田 博之

まつだ・ひろゆき

極端紫外光研究施設
電子ビーム制御研究部門 特任研究員

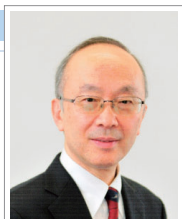
大阪府立大学にて学位を取得後、大阪工業大学、奈良先端科学技術大学院大学での研究、教育生活を経て、4月からUVSORでお世話になっております。奈良先端大学では、長年にわたり、電子状態、原子構造解析のための新しい光電子分光装置の開発に取り組んでまいりました。UVSORでは、その経験を活かし、世界最良の光電子分光実験ステーションの開発に貢献したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

2019年4月1日着任

佐野 雄二

さの・ゆうじ

社会連携研究部門
プログラム・マネージャー



東芝の研究所で37年間勤務した後、内閣府ImPACTのプログラム・マネージャーを5年間勤め、この4月に社会連携研究部門に着任しました。同じく4月に発足したTILAコンソーシアムの活動として、分子研が研究開発してきた小型・高出力パルスレーザーの社会実装を進めます。また、これらの活動を通して産学官金の連携モデルを構築し、分子研成果の社会還元と地域貢献を図ります。

2019年4月1日着任

GANSER, Christian

生命創成探究センター
創成研究領域 特任研究員



I got my PhD in Materials Science at the University of Leoben (Austria) in 2014. My PhD research and following postdocs focused on the use of atomic force microscopy (AFM) to measure mechanical properties of cellulosic materials. In 2017, I moved to Nagoya University as a JSPS fellow to study self-repair of microtubules with high-speed AFM. My research deals with motor proteins on microtubules and developing high-speed AFM methods to determine mechanical properties on the single protein level.

2019年4月1日着任

松尾 宗征

まつお・むねゆき

生命創成探究センター
創成研究領域 特任研究員



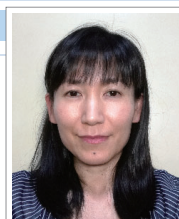
平成31年に東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻にて博士（学術）を取得し、4月より栗原グループの特任研究員に着任いたしました。「有機合成に根差した人工生命づくり」をキーワードに研究をしています。現在は、生命のように振る舞うコアセルバート構築の研究を生命起源に迫べく行っています。岡崎3機関の環境を活かし、分野や手法に囚われない研究を心がけていく所存です。若輩者ですが、どうぞよろしくお願い致します。

2019年4月1日着任

石川 晶子

いしかわ・あきこ

装置開発室
技術支援員



2011年から岡本グループで技術支援員をしておりますが、本年度より装置開発室の一員となりました。これまで同様、電子ビームリソグラフィーを担当します。

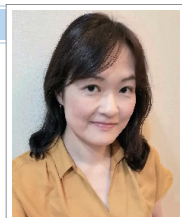
至らぬ点もあるかと存じますが、皆様よろしくお願い致します。

2019年4月16日着任

亀 高 愛

かめたか・あい

研究力強化戦略室
URA（リサーチ・アドミニストレーター）

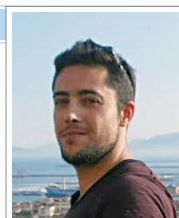


東京大学を卒業後、大阪大学大学院医学系研究科にて博士号を取得し、アメリカ国立衛生研究所へ4年留学しました。専門は、細胞生物学、特に核タンパク質の蛍光イメージングです。あちこちのラボを渡り歩いて、多くの研究手法に挑戦するとともに研究にまつわる雑多なアレコレも数多く経験してきました。分子研ではURAとして、主に予算獲得・評価、国際共同研究、研究活動推進をサポートしていきます。より良い研究環境の提供を目指して頑張りますので、お気軽に戦略室までお声掛けください。

2019年5月1日着任

TITOUAN, Jaunet-Lahary

理論・計算分子科学研究領域
理論・計算分子科学研究部門 特任研究員



I achieved my PhD. from University of Nantes (France) in October 2017, with a thesis on modelling new Rad51's protein with a carrier protein. My research field is centered on the simulations of biological systems as protein by MD simulations and studies of chemical and physical properties of new functional molecule (dye, tweezer, molecular motor,...) with quantum calculations. I have joined the IMS since May 2019 as postdoctoral fellow in the Okazaki group and I work on theoretical simulations of ion exchanger membrane.



2019年6月1日着任

濃 野 永貢子

のうの・えくこ

物質分子科学研究領域
電子構造研究部門 技術支援員

6月より杉本グループの技術支援員としてお世話になっております。以前は別のグループで1年4か月勤めており、その経験を活かしていきたいと思っております。また、研究室の方々のお力添えに感謝し早くお役にたてるように努力したいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

2019年6月1日着任

村 木 めぐみ

むらき・めぐみ

生命創成探究センター
金属生命科学研究グループ 技術支援員

今年の6月から青野グループの技術支援員としてお世話になっております。6年ぶりに触る実験器具に手に汗握りながら、楽しくお仕事をさせて頂いております。まだまだ至らぬ点多くご迷惑をおかけしているかと思いますが、少しでも研究室の皆さまのお役に立てるよう、日々努めて参りたいと思います。よろしくお願い致します。

覧古考新20 | 1988年

分子研では一つの研究グループが大学のそれに比べて小さく、慢性的な研究者不足の状態にあるとよく言われます。私のように物を創る分野の者にとってはこれは極めて深刻な問題でした。しかし、先端実験設備が整っていて、それらを容易に使えたり、研究費獲得に少なくとも助教授である我々がさほどエネルギーを使わなくてもよいなど有利な点も数多くあります。したがって、色々な制約はあるにしろ、それらの制約の中でとにかく一流の研究成果を出すことが一流の研究者だという考え方に立って、現在の環境における強みを最大限に活用して行くことが肝要であると思います。

.....

分子研ではこのように小人数の研究グループで仕事をするわけですから、それだけ優れた研究者とチームを組むことが重要であり、このことが研究の成否を決めることにもなりかねません。公募による人事は互いに甘えがなく、人間関係がすっきりしていて私にとっては大変結構に思われました。バックグラウンドの異なる研究者との議論は尽きることなく楽しいものです。若い人にとっても自分のボスが複数できることになり、将来のポジションの獲得にも有利に働くことでしょう。しかし、最も重要なことはキャリアが違っていても、チームを組んだ後では少なくとも研究に対するベクトルは同じ方向を向いていることが必要でしょう。興味の対象が一致していなければ、お互いに力を発揮することができません。この点が私が分子研で研究協力者を得る際最も留意した点だったと思います。

分子研レターズ No.19「分子研を去るにあたって思ったこと」(1988年)
高谷 秀正 (京都大学教授)